

草津駅西口第5自転車駐車場設備の再利用の考え方について

1 概要

草津駅西口第5自転車駐車場については、草津駅西口自転車駐車場の建替完了（供用開始）に併せ、令和7年3月31日付けで閉鎖しました。

今年度は、令和8年度に予定をしております施設の解体等に向け、再利用可能な設備（自転車置き場等）の検討を行いました。



草津駅西口第5自転車駐車場跡地位置図

2 再利用の考え方

- ① 人件費高騰の影響等により、自転車置き場の大規模な移設を行う場合の費用が想定以上に高くなることから、他の公共施設への移設を行わないことといたしました。なお、南草津駅自転車自動車駐車場への移設は、小規模で新設より安価であるため、実施予定です。

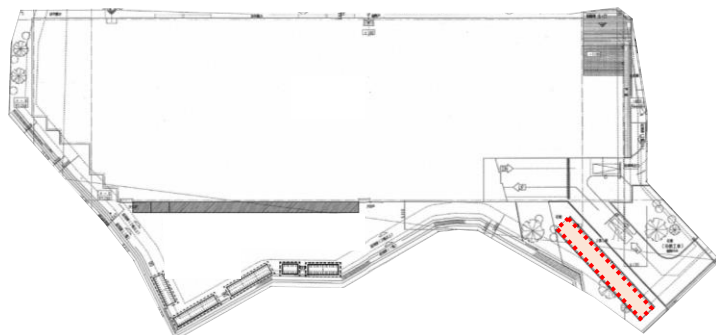
【移設・新設比較】

スパン数※	2	8	10	15	20	25	50
移設/新設比較	96.1%	98.3%	100.4%	102.1%	102.7%	103.2%	108.3%

※ 1 スパン…12.6 m²（自転車6台分）

→10 スパン以上から移設費用が新設費用を上回る

【自転車置き場移設先】



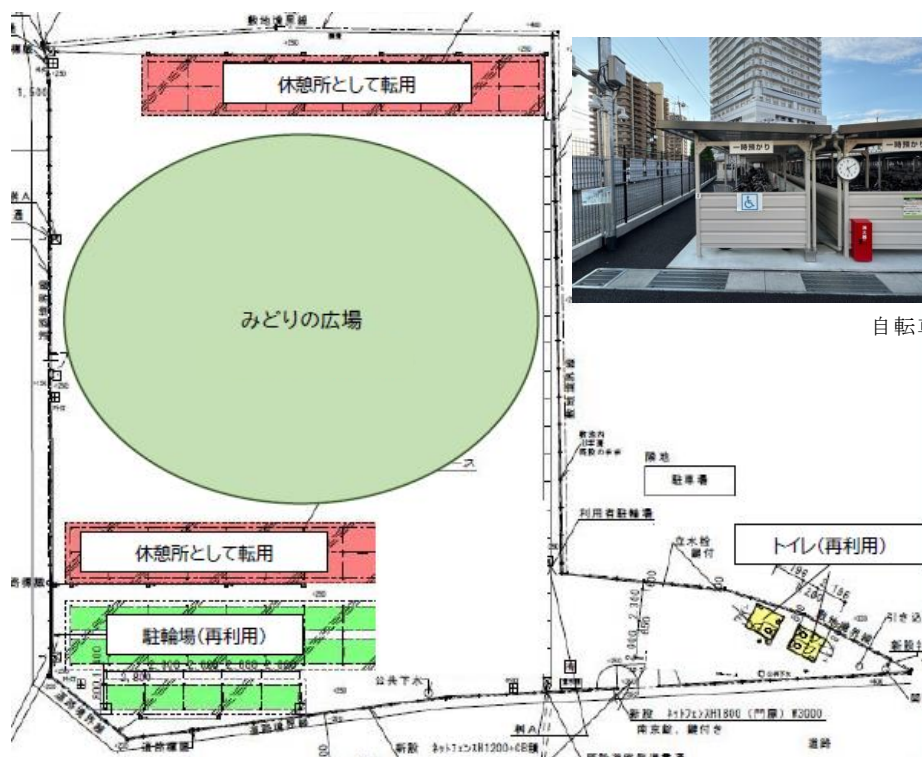
→ 新たな駐輪スペースを確保することにより、駐輪台数および使用料の増加が見込まれます。

- ② 当該地は、埋設物があり高度利用のための除去に多くの費用が必要であることから、当面の間は「みどりの広場」として利用することを想定しています。広場を利用される方の駐輪場・トイレとして既存設備を再利用し、また、日除けの休憩所として転用するなど、現地で設備を再利用することといたしました。

【「みどりの広場」イメージ（草津駅周辺エリア未来ビジョン：駅西エリア）】



【現地での再利用イメージ】



自転車置き場



トイレ



管理事務所

- ③ 管理事務所は、危機管理課により今年度中に教育研究所敷地へ移設され、歴史文化財課の倉庫として再利用がされる見込みとなりました。

【再利用の考え方】

設備	数量		考え方
自転車置き場	197 スパン	8 スパン	南草津駅自転車自動車駐車場へ移設
		21 スパン	現地で駐輪場として再利用
		36 スパン	現地で休憩所として転用
トイレ・防犯灯・カメラ	一式		現地で再利用
管理事務所	一式		教育研究所（歴史文化財課倉庫）へ移設

3 みどりの広場整備後の管理イメージ

「みどりの広場」は、暫定利用であるため、普通財産による管理・活用を想定しています。このため、都市再生推進法人の草津まちづくり（株）と、広場管理について都市再生特別措置法に基づく都市利便増進協定を締結し、仮設店舗等の都市利便施設の設置と、その収益を活用したエリアマネジメントを進めたいと考えており、具体的な活用方針は、社会実験等を踏まえ検討します。

4 今後のスケジュール（予定）

令和7年12月	議会報告
令和8年度	[自転車駐車場] 解体等工事 [広場] 活用方針検討・社会実験
令和9年度	[広場] 実施設計
令和10年度	[広場] 工事